

# 九度山 まちなか マップ

## 1 真田いこい茶屋

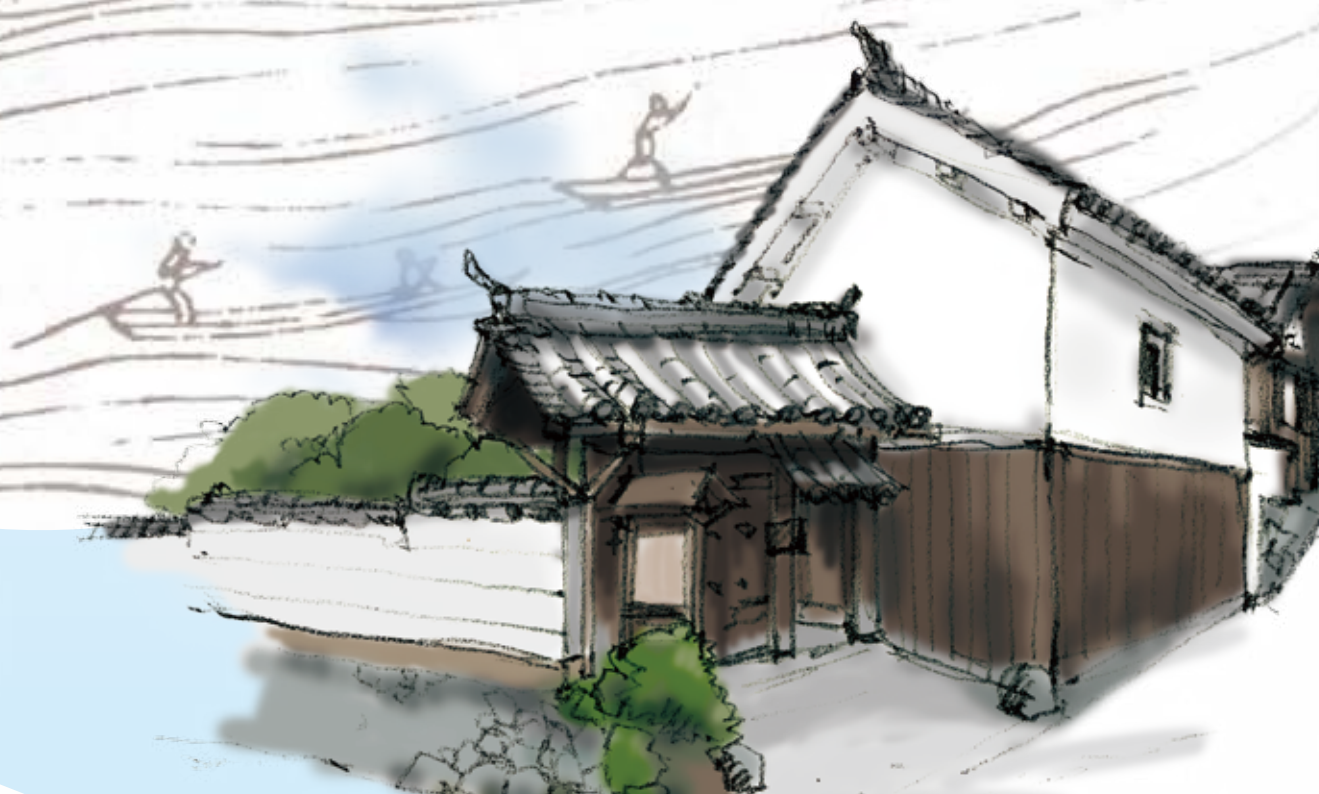
まちなか休憩所として、古民家を再利用した建物で、自由にご利用いただけます。  
また、九度山ならではの土産品販売コーナーも併設されています。



## 3 旧萱野家(大石順教尼の記念館)

(町指定建造物)

明治三十八年(一九〇五)、養父中川萬次郎の狂刃により六人斬り事件の巻き添えを受け、十七歳の身で不幸にして両腕を切り落とされた尼僧大石順教は、苦難の道を乗り越え、両手のないま口に筆をくわえる事を開眼し、昭和八年(一九三三)萱野正之助・タツ夫婦が菩提親となり高野山天徳金山大僧正を師として得度し、しばしば九度山萱野邸に寄留し、数多くの書画をこの館に書き残しています。



## 2 対面石

現在でも街道筋のこの地にあり、「紀伊続風土記」にも、「弘法大師横尾明神と対面せし処といひ伝へたり」とあります。今では弘法大師が母公と対面した所と説明されていますが、これは明治時代以後のことです。ここは、横尾に登る口あたりにあり、神聖な石も祀る大切な場所であったと考えられます。



## 4 真田古墳

(真田の抜け穴伝説)

真田古墳は、紀ノ川と丹生川によって開折された段丘状台地の南斜面中腹に立地している。大坂夏の陣の六文銭の旗印をさせたかつての勇将真田幸村が草庵をむすんだゆかりの地でもあり、実はこの古墳はひっそく「真田の抜け穴」と伝承されています。



## 5 真田庵

(善名称院)

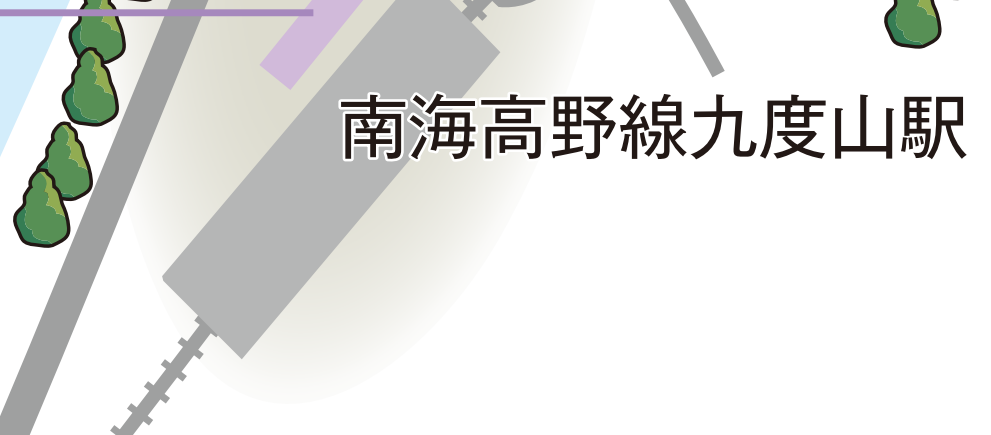
真田昌幸・幸村が閑居した屋敷跡に建つ寺院。幸村の旗印である六文銭が刻まれた門をくぐると重厚な本堂があり、境内には開山堂や土砂堂、真田昌幸の墓、真田宝物資料館、与謝無村の句碑などがあります。



真田のみち

## 6 米金

今も町の人々から親しまれている米金の金時は、南紀狂平氏の作で彼が大正のはじめころ、東山に窯を築いて焼きあげたものです。高さ二メートルあり、こんな大きな陶像は全国的にも珍しいものと言われています。



真田のみち

## 7 松山常次郎記念館

(県指定史跡)

郷土が生んだ政治家・松山常次郎氏に関する遺品や資料の展示。また平山郁夫画伯の絵画を展示し、九度山の観光の拠点として役割を担っています。また常次郎氏の長女美知子さんは日本絵画界の巨匠・平山郁夫画伯の夫人であり、その平山美知子さんに九度山町文化・観光大使として、九度山町の文化や観光、物産等の魅力を全国に紹介いただいています。

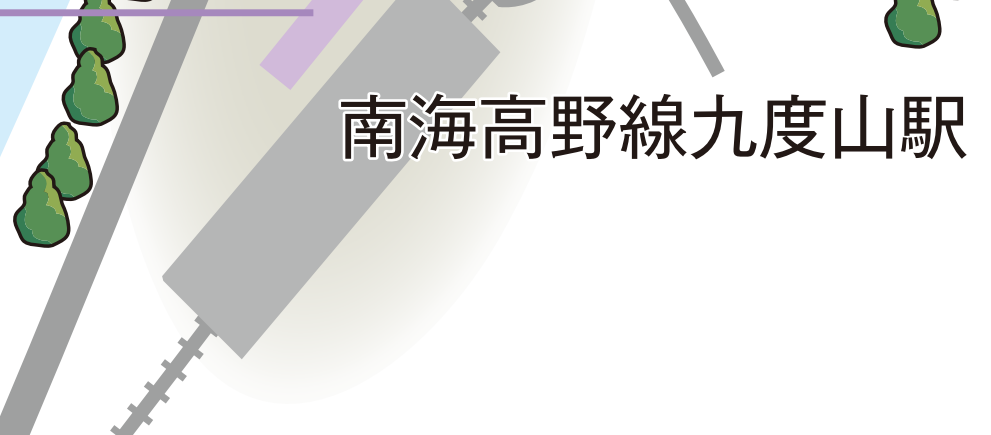


真田のみち

## 8 仏師能光尊

(能光尊之史跡)

能光尊は備前(岡山県)美作郡に生まれ鳥羽院の時の人で、後に九度山町入郷に居住し、永治元年(二四)高野山中門の多聞、持国の二天王を彫刻した。幾多の仏像を彫刻された偉大な仏師でした。

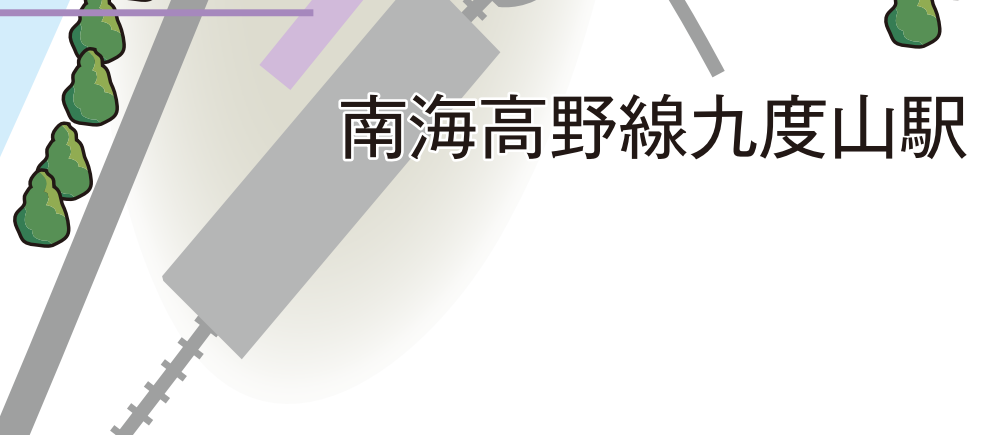


能光尊之史跡

## 9 慈尊院

(世界遺産)

空海が慈尊院創建の時、守り神として地元ゆかりのある丹生都比売・高野御子の二神を祀った神社です。社殿二棟は木造間社春日造り、椋皮葺、極彩色北面で重要文化財に指定されています。



慈尊院

## 10 丹生官省符神社

(世界遺産)

空海が慈尊院創建の時、守り神として地元ゆかりのある丹生都比売・高野御子の二神を祀った神社です。社殿二棟は木造間社春日造り、椋皮葺、極彩色北面で重要文化財に指定されています。

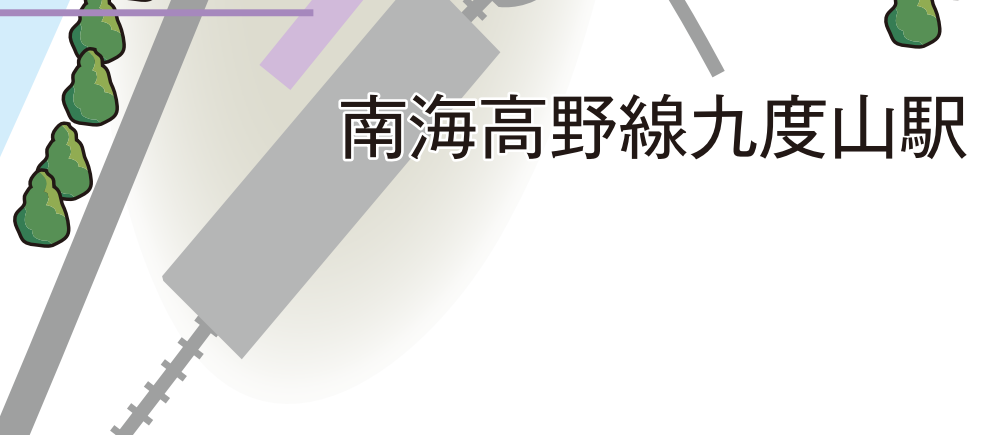


丹生官省符神社

## 11 高野山町石道

(世界遺産)

九度山の慈尊院から高野山へと続く約二十kmの道程で、今も町(〇九〇)ここに卒塔婆石が残り、歴代天皇や法皇、関白や将軍をはじめ一般庶民が、現在に至る千余年の間、ふみかためてきた信仰の表街道です。



高野山町石道

## 12 勝利寺

(弘法大師(空海)厄除観音を祀る寺)

高野表参道の玄関口で、貴族、武士、庶民の宿泊者や参詣者で賑わったと伝えられています。

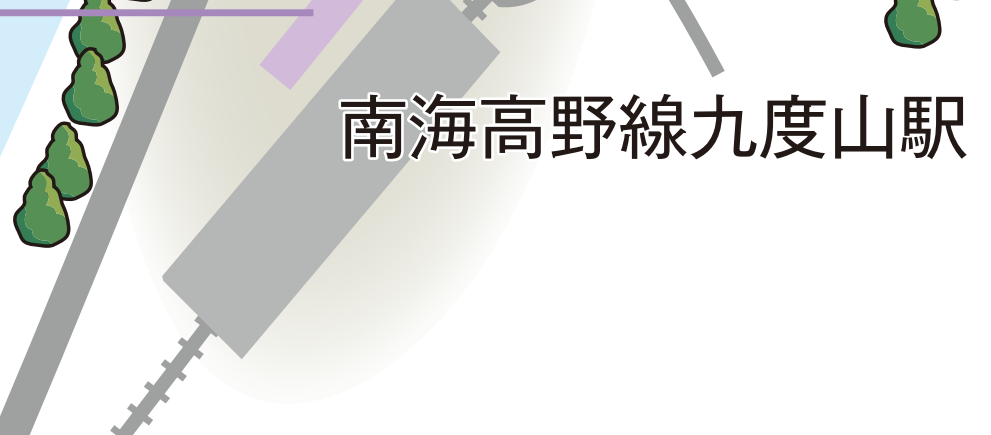


勝利寺

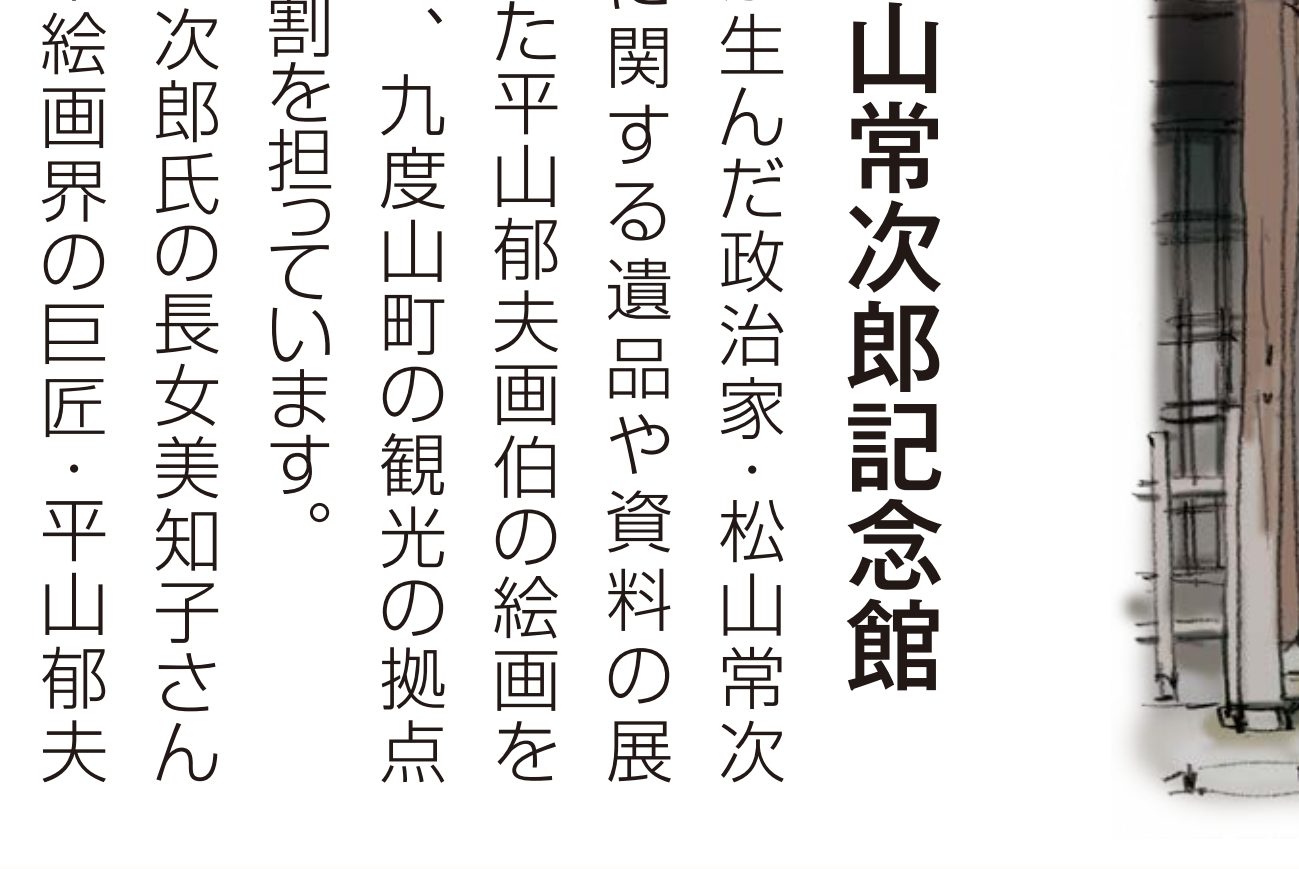
## 13 紙遊苑

(紙の文化を体験できる施設)

空海に教えてもらったと伝えられる手漉き和紙「高野紙(古沢紙)」を未来に伝える紙の資料館と手漉き和紙技術の体験伝承施設です。



紙遊苑



**【観光情報問い合わせ先】**  
**九度山町**  
 〒648-0198 和歌山県伊都郡九度山町九度山 1190 番地  
 TEL : 0736-54-2019 FAX : 0736-54-2022